

4V-3

CIM統合戦略システムへの挑戦
A社における生販一体システム構築事例

久保田 忠実
富士通㈱

はじめに

製造業では、国内市場の成熟、ニーズの多様化など市場構造の変化、急激な円高、人件費の高騰など経済環境の変化、通信の高度化、マイクロエレクトロニクスの進歩などの技術革新の環境下で生産効率の追求、商品の市場競争力アップ等様々な課題を抱えている。A社ではこれらの課題に対して販売力・顧客対応力の強化からアプローチしてCIMシステムを構築した。当社が受託した開発においてどのような取り組みでこれに応えたかを述べる。

1. A社CIMシステム構築の背景

A社は電子デバイス、制御受配電機器などを主に製造・販売している総合電機メーカーである。生産管理システム、販売管理システム(在庫品主体)等を構築し、前述の課題に取り組んできた。しかし、個別のシステムでは限界であった。

- (1). 短納期納入要求の増加：従来は在庫品主体の販売であったが、ニーズ多様化に伴う顧客個別仕様へ対応するために受注生産のオーダー比率が高まり、受注から製造手配までのオーダーリードタイムの短縮が重視されるようになった。
- (2). 営業効率の低下：成熟、飽和した市場にあって更に拡販するためには、相当の営業力強化が必須であり、単なる人員計画では対応できなくなっていた。
- (3). 販売代理店からのサービス向上の要請：他社との差別化のため、商品そのものに対する要求以外に見積・納期などの早期回答、随時対応が求められていた。

2. 新CIMシステムのねらい

これらの課題の克服に対し、次のねらいに基づいて新システムを構築した。

- (1). オーダリードタイムの短縮：工場の製造期間だけでなく、受注から製造手配に入るまでのオーダーリードタイムを短縮し、短納期納入に応える。
- (2). 流通チャネルの強化：販売代理店(以下代理店と略す)との関係の緊密化を図り、流通チャネルを強化することにより、営業効率の向上をねらう。
- (3). 迅速、豊富な顧客サービスの提供：顧客サービスを充実し、販売・物流の差別化をねらう。

3. 新CIMシステムの概要

従来の販売管理システムは、営業所で受けた在庫注文のエントリに従って営業所倉庫へ出荷指示し、工場へは営業所倉庫の在庫補充手配を行っていた。受注生産品の見積、注文手配は人手に頼っていた(図-1)。

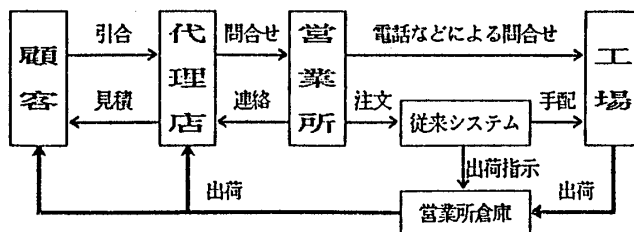


図-1 従来のオーダー処理形態

Change to the CIM Integration Strategy System
Tadami KUBOTA
FUJITSU LIMITED

新システムでは、システムの範囲を代理店、工場まで広げ、受注生産品も対象とした。また、工場の生産管理システムとの統合により、納期回答などのサービスも可能にした（図-2）。

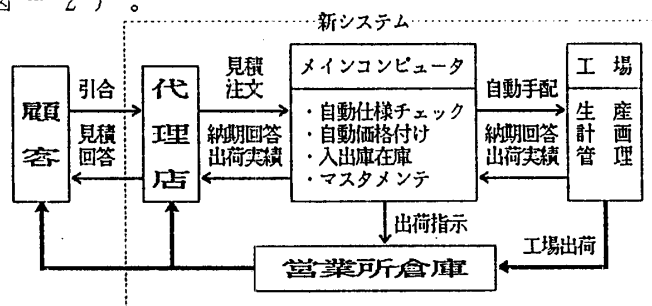


図-2 新システムの概要

4. A社CIM構築アプローチの特長「生販の一体化」

A社のシステム開発では、まず、工場の製作ノウハウを知識データベース化した仕様マスタを構築した。これにより、見積・注文入力に対する仕様の自動チェックを可能にした。

また、当マスタには工場の製造原価と販売管理システムの台数割引、地区別価格等の販売情報を持たせており、自動的な価格算出を行っている。これにより、見積のシステム化を実現している。

更に、注文データの仕様をほぼ工程順に並べ、工場に伝送している。手配データは直接、生産計画（小日程計画）、生産指示のデータとして利用可能になった。

生産管理システムからは納期・出荷情報を販売システムに取り込み、納期回答出荷通知などのサービスを行っている。

まさに生販一体のシステムが構築できたといえる。

また、工場・本社・営業所に加えて、代理店とのネットワークを構築することにより、代理店から直接見積・注文入力することを可能にした。代理店から営業への電話による納期、出荷問い合わせも無くなった。

尚、本開発は先駆的システムであり、生販一体システム化の事例として当社コンセプトに反映されている。

5. システムの効果

5.1 オーダリードタイム大幅短縮

営業を介さずに代理店が直接オーダー入力し、工場へリアルタイムで手配しているため、オーダリードタイムは格段に改善された。また、自動仕様チェックにより、従来のような確認ミス、誤解などによる手戻りもなくなった。

5.2 傘下代理店との系列化促進による営業力の強化

代理店との業務オンライン化により、代理店に対しては直接的営業活動が無くても注文が入るようになり、傘下代理店との系列化が促進され、著しい営業力の強化ができたとしてA社より評価を頂いている。

5.3 充実したサービスによる差別化の実現

見積のシステム化、納期・在庫他各種の照会のオンラインサービスにより、格段の差別化が図れている。

結び

当社は、本システム開発で培われた経験を基にCIMシステム構築の良きパートナーとして社会に貢献して参りたいと思います。